

# アクションプラン総括的検証結果（概要）

## 取組の経緯

- 平成30年7月の監督命令に基づき、J R北海道と地域の関係者が一体となって、利用促進やコスト削減などに取り組むとともに、持続的な鉄道網の確立に向け徹底的な検討を行うため、事業計画（アクションプラン）を策定。
- 取組の結果を毎年度検証し、最終年度（令和5年度）には総括的な検証も行う。その際、目標に対する達成度合い等を踏まえ、事業の抜本的な改善方策についても検討を行う。

## 5年間の取組状況

### アクションプランの取組

⇒【参考①】

- 利用促進：観光列車の運行（釧網線・花咲線・富良野線等）、通学定期等への助成（日高線等）、名寄高校駅移設（宗谷線）、特急列車内での特産品販売（石北線等）、ウォーキングイベントによる利用促進（根室線・室蘭線等）、他
- コスト削減：ご利用の少ない駅の見直し（釧網線・花咲線・石北線・宗谷線・日高線）、ご利用の少ない踏切の見直し（石北線・根室線）
- J Rと地域の関係者が一体となって取り組む気運が醸成された。
- 新型コロナウイルスの影響等により、一部の取り組みは計画通り実施できず。**

### 調査・実証事業（令和5年度）

⇒【参考②】

- 調査事業：沿線住民等への公共交通利用実態調査や観光利用に関する調査を実施
- 実証事業：線区特性に応じた「観光利用の促進」「地域住民等の都市間利用の促進」「バスとの連携による地域住民の域内移動の促進」に資する各種事業を実施

## 5年間の取組結果の検証

- 上記の取組を進めてきたものの、約3年間にわたる新型コロナウイルスの影響等により、観光・生活面での利用は大幅に減少。
  - 基本指標となる線区収支・輸送密度は、一部を除き目標未達。**
  - 沿線住民の利用頻度や今後のJ Rを利用する意向については、線区により差が見られる。
  - 収支改善・利用拡大につながる**事業の抜本的な改善方策の検討には至らず。**
  - 一方で、**ポストコロナを迎え、生活交通利用の回復、インバウンドや国内旅行増加の動き。**
- ただし、営業収益やご利用状況の回復度合いについては、線区により差が見られる。

⇒【参考③】

## 今後の取組の方向性

- 維持する仕組みの構築に向け、J R北海道と地域の関係者は、引き続き一体となって、
  - ・新型コロナウイルスの影響により効果が発揮できなかった利用促進等の取り組みについて、内容を見直し、実証事業として行うことも含めて検討・実施
  - ・線区特性に応じて、徹底した利用促進やコスト削減の取組を行うとともに、データとファクトに基づく議論を重ね、P D C A サイクルにより必要な見直しを行いながら、今後3年間を目途に、事業の抜本的改善方策をとりまとめることとしたい。

# 【参考①】アクションプランの取組概況

	5年間の象徴的な取組	実施状況	
		計画した取組総数	新型コロナの影響等により計画通り実施できなかった件数（割合）
釧網線	<b>(利用促進)</b> 特別な「ノロッコ号」の運行、釧網線「リモートトラベル」の実施 <b>(経費節減)</b> 細岡駅の季節営業化 <b>(意識向上)</b> 小学生による駅舎ペインティング	139件	51件 (37%)
花咲線	<b>(利用促進)</b> 「地球探索鉄道花咲線」増結等の取組、住民の鉄道利用への助成 <b>(経費節減)</b> 駅の廃止による維持管理費の節減 <b>(意識向上)</b> 「はじめての鉄道旅。」の実施	121件	51件 (42%)
石北線	<b>(利用促進)</b> 特急列車内での特産品の販売、「謎解き列車の旅」の実施、JR運賃等への助成 <b>(経費節減)</b> ご利用の少ない駅の見直し	161件	28件 (17%)
宗谷線	<b>(利用促進)</b> 観光列車の運行、名寄高校駅供用開始 <b>(経費節減)</b> ご利用の少ない駅の見直し <b>(意識向上)</b> 「宗谷線ステーションカード」の配布	202件	53件 (26%)
富良野線	<b>(利用促進)</b> 「えきをめぐるなぞとよのたび」の実施、臨時観光案内所の設置 <b>(意識向上)</b> 鉄道絵画・フォトコンテストの実施、旭川駅と運転所見学ツアー	118件	28件 (24%)
根室線	<b>(利用促進)</b> トナム・富良野モニターバスの運行、炭鉄港コラボの「いつでもウォーク」コース設定 <b>(経費節減)</b> ご利用の少ない踏切の見直し <b>(意識向上)</b> 小学校行事等における鉄道乗車体験の実施	103件	52件 (50%)
室蘭線	<b>(利用促進)</b> ウォーキングイベントによる利用促進、お祭り会場利用クーポンを駅で配布、グループ旅行助成制度による利用促進 <b>(意識向上)</b> 出前授業・体験乗車の実施	95件	37件 (39%)
日高線	<b>(利用促進)</b> 定期券助成による列車通学、ラッピング列車の運行 <b>(経費節減)</b> 浜田浦駅の廃止による経費削減 <b>(意識向上)</b> 出前授業・体験乗車の実施	70件	36件 (51%)

# 【参考②】 調査・実証事業の概要①

## 調査・実証事業の概要

- 黄8線区において「総括的な検証」と「事業の抜本的改善方策の検討」を行うにあたり、データとファクトに基づき有効な改善方策を調査・検証するため、各線区の協議会（右表参照）が主体となり調査・実証事業を実施。
- 調査・実証事業の実施にあたっては、国※<sup>1</sup>及び北海道※<sup>2</sup>が新たに措置した補助制度を活用
  - ※1. 地域公共交通再構築調査事業 ※2. JR単独維持困難線区支援事業費補助

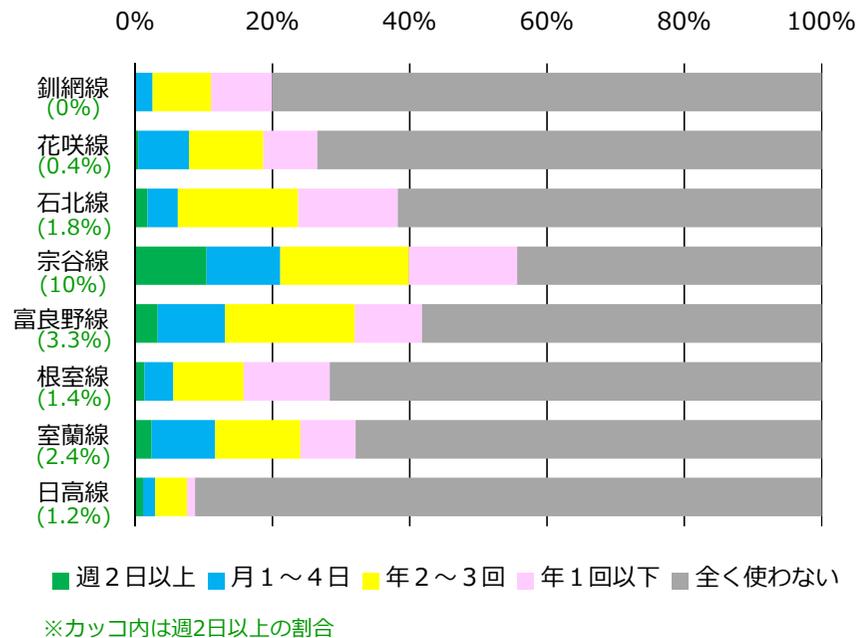
線区	協議会名
釧網線	JR釧網本線維持活性化実行委員会
花咲線	JR花咲線調査・実証事業協議会
石北線	JR石北本線調査・実証事業協議会
宗谷線	宗谷本線調査・実証事業協議会
富良野線	JR富良野線連絡会議
根室線	根室本線対策協議会
室蘭線	JR室蘭線活性化連絡協議会
日高線	JR北海道の維持困難線区に関する東胆振首長懇談会作業部会

## 調査事業

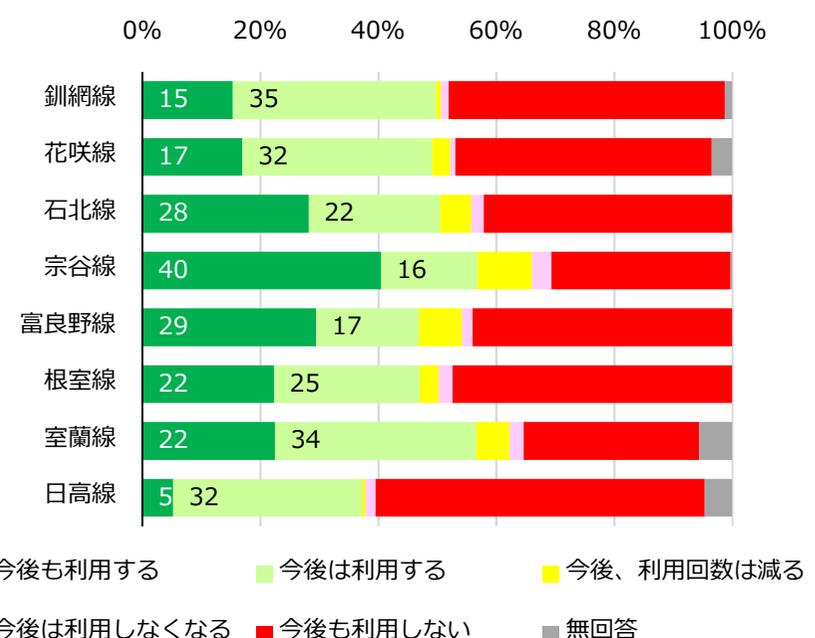
○沿線住民への公共交通利用実態調査（高校生を除く、主な調査結果）

※回答数 釧網線 235件、花咲線 230件、石北線 337件、宗谷線 336件、富良野線 275件、根室線 215件、室蘭線 249件、日高線 172件

J Rの利用頻度



J Rの今後の利用意向



## 【参考②】 調査・実証事業の概要②

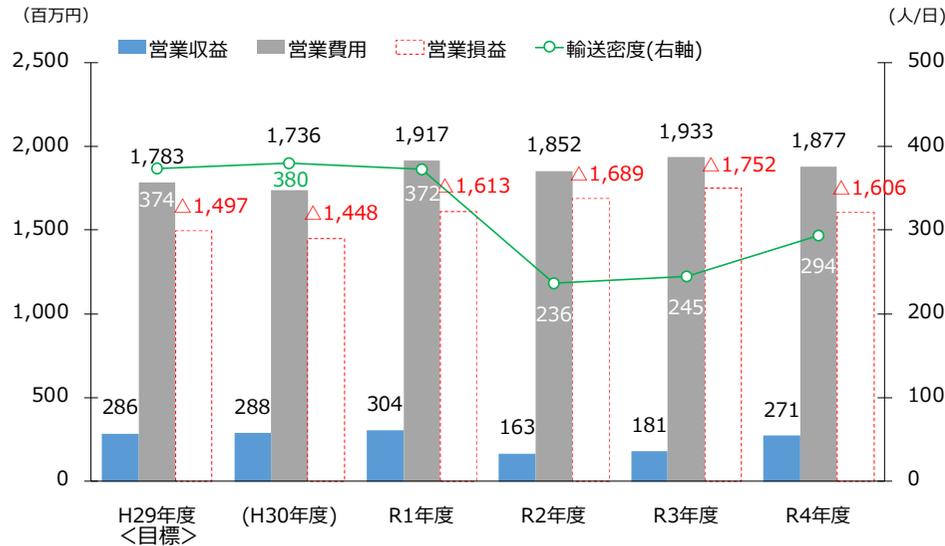
### 調査・実証事業

※(観光利用)：観光利用の促進、(都市間利用)：地域住民等の都市間利用の促進、(バス連携)：バスとの連携による地域住民の域内移動の促進

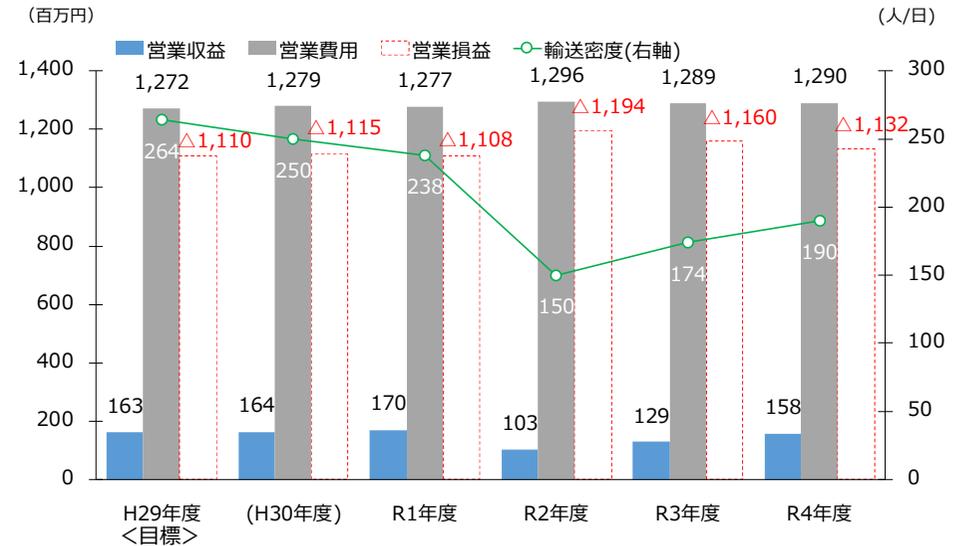
線区	事業※
釧網線	(調査事業) 観光利用に関する意向調査 (観光利用) くしろ湿原ノロッコ号 実証運行（釧路湿原駅長時間停車等） (観光利用) サイクルトレイン実証運行
花咲線	(観光利用) 地球探索鉄道花咲線増結と景色の良い海側に指定席導入 (観光利用) サイクルトレイン実証運行 (バス連携) 落石駅～根室駅バス実証運行（根室市内高校・病院直通）
石北線	(都市間利用) 来訪者管内移動の利便性向上（ＪＲ利用者に対するバスフリーパス購入費一部助成） (都市間利用) 都市間移動の利便性向上（沿線住民対象に札幌との都市間移動を片道バス・片道ＪＲでも利用可能に）
宗谷線	(バス連携) 高校直通バス実証運行（稚内市内登校バス） (都市間利用) 比布駅・剣淵駅に特急列車を停車 (都市間利用) 地域住民向け特急利用の促進（名寄・稚内間の沿線住民対象に特急料金一部助成）
富良野線	(調査事業) 観光利用に関する意向調査 (観光利用) ラベンダー畑駅普通列車停車 (観光利用) フラノラベンダーエクスプレス延長運転
根室線	(観光利用) 沿線観光素材活用によるバスとの連携（ＪＲフリーパスでバス乗車可能とする取組）
室蘭線 日高線 連携	(バス連携) ＪＲ定期券でバス乗車可能とする取組 (観光利用) バスとの連携による観光事業（ＪＲフリーパスでバス乗車可能とする取組）

# 【参考③】基本指標の推移①

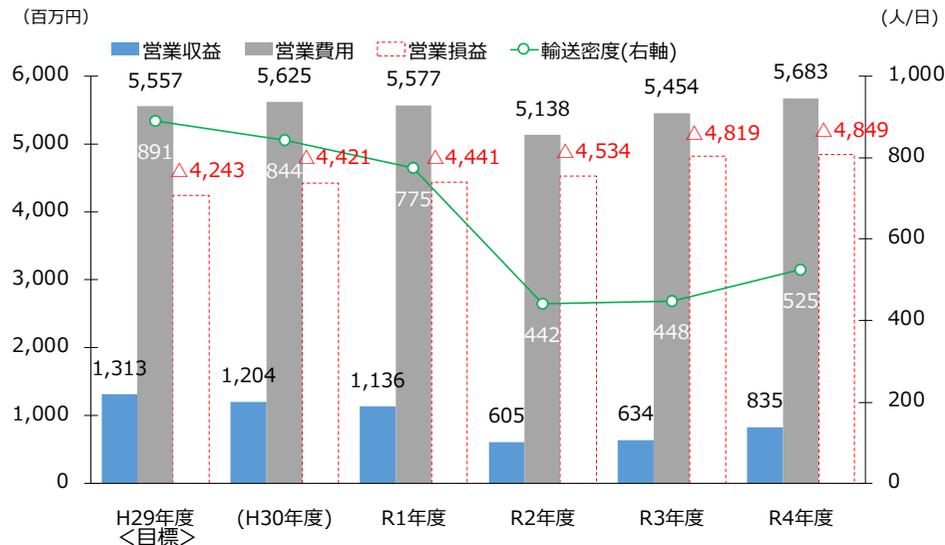
## ① 釧網線（釧路～網走）



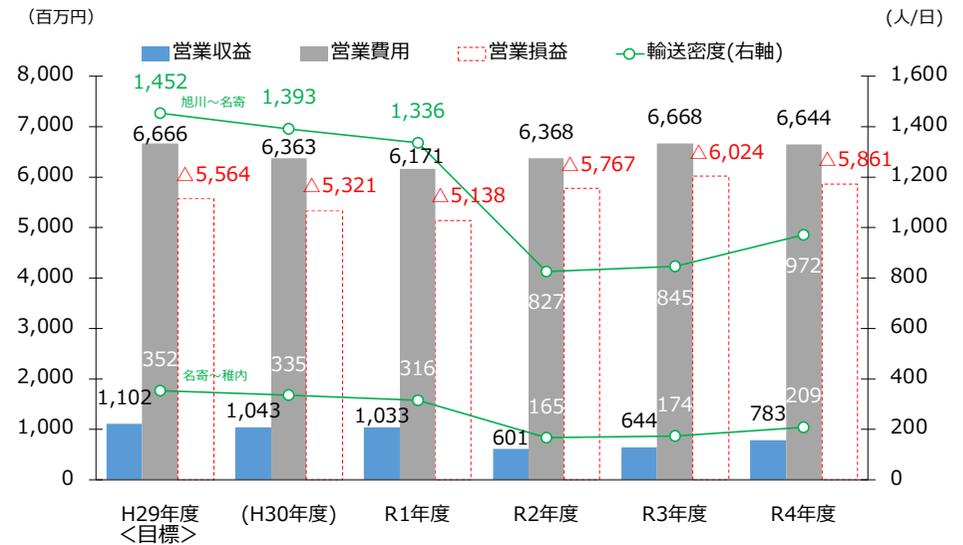
## ② 花咲線（釧路～根室）



## ③ 石北線（旭川～網走）

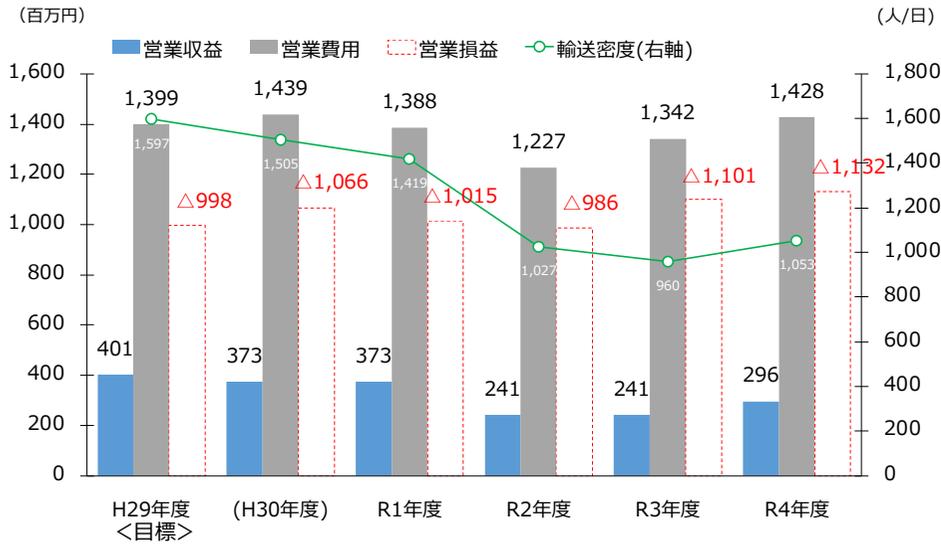


## ④ 宗谷線（旭川～稚内）

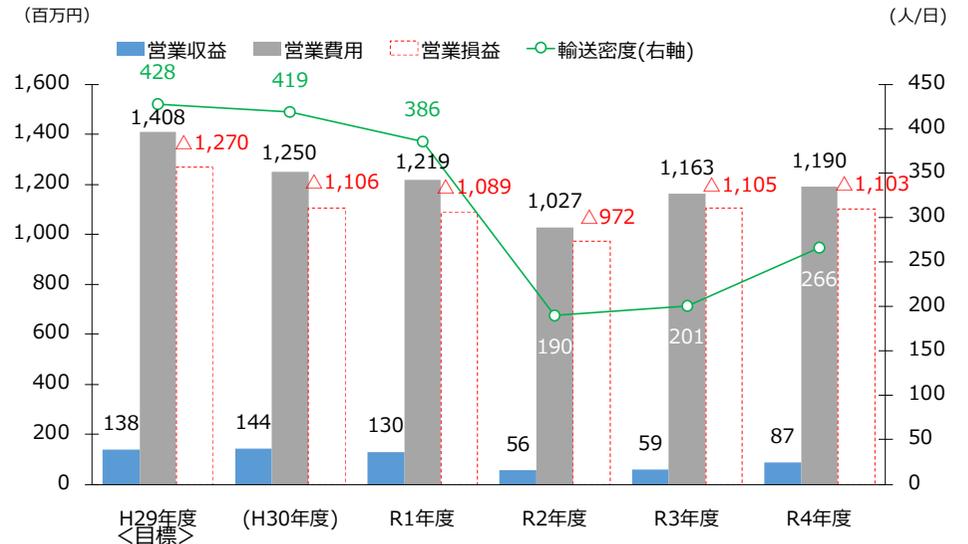


# 【参考③】基本指標の推移②

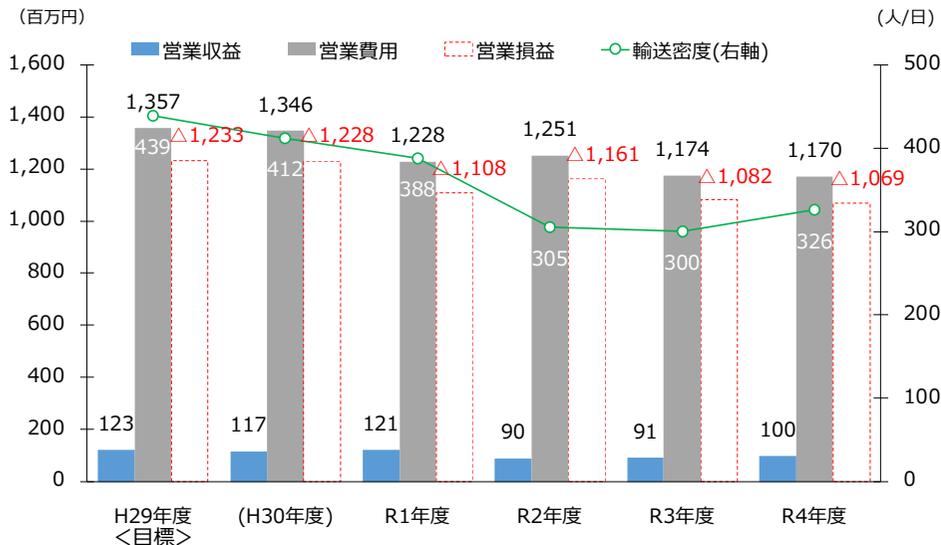
## ⑤ 富良野線（富良野～旭川）



## ⑥ 根室線（滝川～富良野）



## ⑦ 室蘭線（苫小牧～岩見沢）



## ⑧ 日高線（苫小牧～鶴川）

